View metadata, citation and similar papers at core.ac.uk
brought to you by CORE

3. 当科における HBV genotype の検討

獨協医科大学越谷病院消化器内科
國吉　徹，鈴木壱知，高田　洋，片山裕視，
鈴木一義，玉野正也

【目的】B 型肝炎における HBV genotype の頻度と病態について検討した．

【方法】B 型肝炎 202 例（男性 116 例, 女性 86 例）を対象とした．対象の内訳は健常肝 110 例，急性肝炎 11 例，慢性肝炎 66 例，肝硬変 15 例であった．202 例中 52 例に核酸アナログ製剤が投与されていた．肝細胞癌の合併は 13 例に認めた．これらの症例における HBV genotype（以下 genotype）を測定した．

【結果】202 例中，genotype A は 13 例（6.3%），genotype B は 49 例（24.3%），genotype C は 115 例（56.9%），genotype D は 1 例（0.5%）であり，判定保留を 24 例（11.9%）に認めた．Genotype A の 13 例は健常肝 3 例，急性肝炎 7 例，慢性肝炎 3 例であり，平均年齢 39.6±10.0（22-60）歳と若く，男性 10 例，女性 3 例と男性に多い傾向にあった．Genotype B の 49 例は健常肝 36 例，慢性肝炎 12 例，肝硬変 1 例であり，肝細胞癌は 1 例に認められた．Genotype C の 115 例は，健常肝 53 例，急性肝炎 3 例，慢性肝炎 45 例，肝硬変 14 例であり，肝細胞癌は 11 例に認められた．Genotype D の 1 例は健常肝であり，39 歳，女性でガーナ共和国出身であった．判定保留の 24 例は，健常肝 18 例，急性肝炎 1 例，慢性肝炎 5 例であり，肝細胞癌は 1 例に認められた．急性肝炎 11 例中，3 カ月以上経過を追跡しえた 9 例（genotyoe A 6 例，genotype C 2 例）のうち，genotype A の 5 例は HBc 抗体の持続高値を呈した．核酸アナログ投与による HBV DNA 陰性化率は，genotype A で 2/2（100%），genotype B で 8/10（80.0%），genotype C で 15/34（44.0%）であった．

【結論】Genotype A は 6.3%に認め，急性肝炎例が多く，キャリア化する可能性が高い．Genotype B は 24.3%に認め，慢性肝炎例が多かった．Genotype C は 56.9%に認め，肝硬変への移行，発癌例を多く認めた．核酸アナログへの反応は genotype C で他の群に比して不良であった．

4. 非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）と血管内皮機能

獨協医科大学 [1]健康管理科 [2]内科学（循環器）[3] 内科学（消化器）
大野絵里[1]，知花洋子[1]，渡邉菜穂美[1]，
大類方巳[1]，石光俊彦[2]，秋間　崇[3]，
植竹知津[3]，室久俊光[3]，飯島　誠[3]，
平石秀幸[3]

【目的】非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）は，動脈硬化との関連が強く指摘されている．今回，NAFLD における血管内皮機能について検討した．

【方法】Informed consent の得られた当科短期ドック受診の男性 NAFLD 群 21 名と男性対照群 15 名を対象として．臨床的，血液学的，および血管内皮機能などについて対比検討した．NAFLD の脂肪性病変（脂肪肝）は腹部超音波検査で診断し，血管内皮機能は，Endo PAT 2000 を用いて検討した．

【結果】男性 NAFLD 群 21 名は，男性対照群 15 名と比較して，単変量解析では，BMI，腹囲，拡張期血圧，ALT，AST/ALT 比，血中アルブミン，空腹時血糖および高感度 CRP で有意差がみられた．しかし，血液学的に肝の進行度（線維化）をみる血小板，血中ヒアルロン酸，FIB4 index，NAFLD fibrosis score，BARD score では有意差がみられなかった．多変量解析を行うと，NAFLD 群は対照群と比べて，BMI，ALT，空腹時血糖が有意に高値であった．

血管内皮機能は，NAFLD 群では対照群と比較して低下している傾向にあった．血管内皮機能と各因子との相関関係をみると，FIB4 index，NAFLD fibrosis score とは明らかな相関はみられなかった．

【結語】高血圧，糖尿病および脂質異常症の治療歴がなく，血液学的に肝の進行度（線維化）に明らかな差のない人間ドックの NAFLD 群と対照群を比較すると，NAFLD 群は血管内皮機能が低下している傾向にあった．